



2016年
7月
第40号



発行：株式会社アルカンシェル
北九州市小倉南区志井264-7
TEL：093(964)2841
FAX：093(964)2840
eメール：enn@chive.ocn.ne.jp
<http://www.ie-enn.co.jp>

暑中お見舞い 申し上げます

このニューズレター、1年に4回の配布を始めて40号、なんと10年やり続けました。自画自賛！

まさかの熊本地震！ビックリ！夜中に目が覚めたことなんてなかったのに、今回ばかりは、直ぐに気づきました。あの日から、3か月。あっという間でしたね。

私は、4月16日（土）の夕方、熊本への配送が全てストップしたので、物資を送ることを断念していたのですが、九州自動車道は、植木ICまで開通しているとの情報で、17日（日）7時ごろ物資を積み、熊本へ出発しました。途中、薬や〇〇が欲しいと連絡があり、大牟田のスーパーや薬局に立ち寄り購入しました。熊本から離れた大牟田なのに、パンはひとり1個までとか、早くも制限がかかっていた。

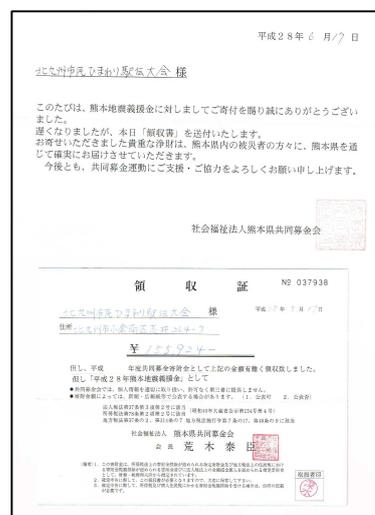
熊本の方々は、みなさん「まさか・・・」でした。

未だにテント生活されている方や将来設計が変わって悩んでいる方が多くいらっしゃいます。北九州市もいつ何が起こるか解りません。不安なことばかり言うのではなく、今、出来ることをやりましょう。

5月8日に開催した、第16回北九州市民ひまわり駅伝大会では、「熊本地震復興支援」とし、大会中に実行委員長が募金活動をしました。

※大会当日の募金総額は「155,924円」です。これは大会共催の北九州市社会福祉協議会へお渡しいたしました。みなさま、ご理解とご協力、ありがとうございました。

北九州市社会福祉協議会より「寄託を受けた義援金は、熊本県共同募金会の義援金口座に送金させていただきます。義援金については、募金期間終了後、配分委員会を経て熊本県の被災者に義援金として配分される予定です」



ユーチューブで「北九州市民テレビ」と検索すると動画配信されています。

<https://www.youtube.com/watch?v=CCSjfZHqoA>

株式会社 アルカンシェル 代表取締役 岡本広治

「チーム北九州」始動 (発起人企画書より引用しています)



熊本地震の被災地（西原村や益城町・阿蘇市周辺）に、北九州市内からネットで参加者を募る災害ボランティアです。

この災害ボランティアは、本来の災害ボランティア（瓦礫やごみの撤去など）や農業復興支援、被災者の心理ケアなどを含んでいます。

この背景は、2011年の東日本大震災では、全国からボランティアが訪問し、福井県から参加された「チームふくい」が民間中心に大勢の参加者が参加され、組織的に復興ボランティアにあたっていたことや今後北九州市内に災害ボランティアの経験者が多く増えることで、市内で災害が発生した場合にも対応が行いやすくなることがあげられます。

そこで、こうした趣旨に賛同していただける方で、会合を募りそれぞれの組織の枠組みを超えて「チーム北九州」として、災害ボランティアチームが結成しました。

Facebook「チーム北九州」災害サポート

水・電気・ガスのライフラインが止まっても

【美味しく食べられる保存食】

温かいのです！

※常温保存期間：3年

レスキューフーズを食べました。 5種類

- ・カレーライス1食（ごはん200g、ビーフカレー180g、発熱セット、レンジ、紙ナプキン）
- ・シチュー&ライス1食（ごはん200g、ビーフシチュー180g、発熱セット、レンジ、紙ナプキン）
- ・牛丼1食（ごはん200g、牛丼の素180g、発熱セット、レンジ、紙ナプキン）
- ・中華丼1食（ごはん200g、中華丼の素180g、発熱セット、レンジ、紙ナプキン）
- ・和風ハンバーグライス1食（ごはん200g、ハンバーグ180g、発熱セット、レンジ、紙ナプキン）



【地震保険のウソ・ホント】



- ・地震保険はどこの会社でも同じ・液状化による被害でも地震保険は出る
- ・地震保険の保険対象には「建物」「家財」の2種類・自動車の被害は地震保険で補償されない
- ・保険料は、所在地と建物の耐火基準によって金額が違う
- ・すべての会社が地震保険を扱っている訳ではない。地震保険は単独では加入することができず、火災保険とセットになる。火災保険のみ加入している人は、地震保険を付帯することができる。
- ・地震保険は建物・家財の再調達価格に合わせて補償額が決まる。2社以上の保険に加入しても、実質出る保険金は1社分のみになる可能性が高い。
- ・地震保険には4つの割引があるが、それらを重複して適用することはできない。

東京防災

<http://www.bousai.metro.tokyo.jp/book/>

これは、とても良い。
デジタル本で無料です。

第3期「びびんこ」(公募型協働プログラム)の募集を開始いたしました。

「びびんこ」とは、北九州エリアで社会課題の解決に取り組む社会起業家を公募し、採択された団体に対して、返済を求めない助成として資金提供するとともに、団体のニーズに合わせて、北九州を中心とした産官学においてそれぞれ本業を持つ多彩な正会員(パートナーと呼ばれるメンバー)が、その専門性やスキルを活かした経営サポートを1年間行うプログラムです。

このプログラムは、我々が直接的にソーシャルベンチャー(社会課題の解決を目指している団体様)に対して社会投資(資金、時間、スキルの提供)を行うことで、より良い社会を作ることを目的とした事業です。

- 協働の期間 : 1年間
- 協働団体数 : 1~2団体を想定 (選考内容により変動することがございます)
- 資金の提供 : 1団体最大50万円 (返済義務のない助成金の扱いとなります)

募集詳細につきましては、以下のHPをご覧ください。

http://sociofund.org/sfk/services/bibinko/bibinko_entry/

■スケジュール

公募期間 : 2016年7月18日(月)24時(申請書の返送の期限)

選考期間 : 2016年公募終了後~11月

協働開始 : 2017年1月~(予定)



■募集概要

- ・「びびんこ」とは、社会課題の解決を目的として事業・団体様に対して経営サポートを行うプログラムです。
- ・最大50万円の資金提供(助成)及び、ソシオファンドメンバーによる1年間の経営サポートを実施します。
- ・資金及び、メンバーの時間と専門性を提供することで、団体様の成長に必要なアクションを共に起こしていきます。
- ・具体的な協働の形につきましては、選考の過程で協議させていただくことを予定しております。
- ・資金用途については制約を設けておりません。選考過程において効果的な使い方を議論させていただきます。
- ・選考においては「起業家としての素養」「取り組む社会課題の捉え方」「課題解決の手法」「ソシオファンドが提供できるリソースと協働内容のマッチング」の各視点を重視いたしますが、最大のポイントは北九州をよりよい社会にする活動であること、そしてソシオファンド北九州との協働の成果が期待できることです。

■募集条件

- ・北九州に対して影響を及ぼす活動を行っている団体様を対象としています。拠点が北九州以外でも構いません。
- ・法人格についての制約はございません。(株式会社、特定非営利活動法人(NPO)、社団法人、任意団体 etc.)
- ・活動実態が認められ、明確な責任者(代表者)と直接協議させていただける団体様であること。
- ・反社会勢力でないこと。
- ・ソシオファンド北九州の理念および活動をご理解いただき、共に成長を目指す意思をお持ちであること。
- ・よりよい未来の北九州のために、共に一歩を踏み出したい団体様。
奮ってご応募いただければと思います。

こんにちは、毎日蒸し暑い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？

もうすぐ、海水浴シーズンですね。

夏と言えば海の家とカキ氷でしょうか？焼けた体を、シャワーで冷まして、畳の上にごろりと寝そべって、冷たい飲み物とうちわで扇ぎながらウトウトと、遠くの水平線を見つめながら・・・

かく言う私は、水平線の向こうからやってくる波に乗ります。

何万年も前からこの星には波がありました。しかし、サーフィンの歴史はほんの1世紀にすぎません。

1964年、東京オリンピックが開催された時、サーフィンをしている国は、わずか4カ国でした。それが現在では世界中ほとんどの国で楽しまれています。ほとんどの島、ほとんどの海で・・・世界中のサーフスポットを1日1カ所ずつ巡って行ったら、軽く50年はかかります。

波の魅力を語る・・・大きな海を旅してきた波は、私たち人間に指紋があるように、様々な大きさや、形でやってきます。荒れていたり、太陽の光で、きらきら輝いていたり、多種多様です。地形や方角によって種類も変わってきます。波の種類は大きく分けると、ビーチブレイク・ポイントブレイク・リーフブレイクと呼ばれる3種類があります。

最近では、ボードの種類によって波の好みも種類も変わります。ロングボード・ショートボード・ボディボード・最近ではSUP（スタンドアップボード）オールを使ってコントロール出来る物や、ジェットスキーで引っ張ってもらい、巨大な大波にトライする人々など、いろいろな楽しみ方があります。

僕がやっているのはショートボードです。中古のサーフボードを先輩に譲ってもらったのがきっかけでサーフィンを始めましたが、それ以来ずっとショートボードスタイルです。

ショートボードの歴史はまだ浅く1960年から70年頃広まりました。1920年から30年代は、45キロもある杉板を使用し、50年代は、バルサ材やファイバーグラス製、60年代はポリウレタンフォーム、70年代に入りショートボードが主流になりました。オリンピックの競技になるサーフィンというのは、ショートボードの競技だと思えます。アイススケートのような、難易度の高い技や、アグレッシブさが観るものを魅了し、採点範囲も幅があるからではないでしょうか。

サーファーも波も旅人です。遥か彼方で生まれた波が、世界の海を旅して、どこかのビーチで砕ける・・・それは自然の贈り物です。旅で出会った波は忘れません・・・何よりも友人たちの事を。これからもいろんな島や海を旅して、いろんな人たちと出会い、多くの大切な事を学んでいきたいと思えます。

どこかの海で出会える事を楽しみにしています。

それでは、sea you again！



アルカンシェル唯一のサーファー
安部 敬一郎

☆いろいろな情報をお待ちしています！！☆

皆様のお住まいやお店で、気になる箇所や、見て欲しい箇所、これってどうなの？な疑問、イベント参加の申し込み、紹介したいお店や商品、皆様がお持ちの楽しい情報やおもしろいネタ、匠の情報、配布先の紹介等、アルカンシェル迄お気軽にご連絡くださいませ。

TEL : 093 (964) 2841

FAX : 093 (964) 2840

メール : enn@chive.ocn.ne.jp